ICOM

取扱説明書

業務用特定小電力トランシーバー

IC-MS4055
IC-MS4066

Icom Inc.

はじめに

このたびは、アイコムの業務用無線装置をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本機は、特定小電力無線設備として技術基準適合証明規則に合致した、同時通話方式の車載型特定小電力トランシーバーです。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、大切に保管してください。

- この取扱説明書には、IC-MS4055(1mW出力)とIC-MS4066(10mW出力)併記していますのでご注意ください。
  送信出力以外で異なる点は、IC-MS4055が1回の通話時間に制限がないのに比べ、IC-MS4066は3分間で通話が切れます。その後、2秒間の休止時間をおき、もう一度自動的に呼び出し（自動継続機能）ます。
- IC-MS4055(1mW出力)に子機(IC-4055またはIC-4050A/B)を付加することにより、1：1または1：Nによる同時通話を行うことができます。
- IC-MS4066(10mW出力)に子機(IC-4066またはIC-4060A/B)を付加することにより、1：1または1：Nによる同時通話を行うことができます。

標準構成品

品　名	型 式 名	備　考
無線機本体	IC-MS4055 IC-MS4066	
スピーカー	SP-5	
DC電源ケーブル	OPC-585A	ヒューズ付き
車載ブラケット	1546 MOBELE BRACKET	取り付け用ビス類含む
取扱説明書		
保証書		

別 売 品

品　名	型 式 名	備　考
無線子機	IC-4055または IC-4050A/B	IC-MS4055の子機として使用
無線子機	IC-4066または IC-4060A/B	IC-MS4066の子機として使用
アーム型マイクロホン	AM-4	アーム型マグネット台付きコンデンサーマイクロホン

目　　次

1. 安全上のご注意(必ずお読みください) 1
2. 各部の名称と機能 3
■ 前面パネル 3
■ 後面パネル 3
3. 操作のしかた 4
A 通話モードについて 4
B 基本操作のしかた 5
C ペア仕様機の操作 6
D 一斉呼び出し仕様機の操作 7
E 自動継続機能について 9
F 拡声器機能について 9
G 本機の[音量/通話]ツマミとマイクロホンの[通話]スイッチについて 10
4. ご参考に 11
A 回線接続表示について 11
B 設置について 12
C 保守について 13
D 故障かな？と思ったら 13
E アフターサービスについて 14
5. 定格 15

1 安全上のご注意

安全にお使いいただくために、必ずお読みください。

- ここに示した注意事項は、使用者および周囲の人への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
- お読みになったあとは、大切に保管してください。

⚠危険

下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される」内容を示しています。

- **引火性ガスの発生する場所では絶対に使用しないでください。**
  引火、火災、爆発の原因になります。

⚠警告

下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

- **民間航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、業務用無線局および中継局周辺では絶対に使用しないでください。**
  運航の安全や無線局の運用、放送の受信に支障をきたす原因になりますので、電源を切ってください。
- **電子機器の近く(特に医療機器のある病院内)では絶対に使用しないでください。**
  電波障害により電子機器が誤動作、故障する原因になりますので、電源を切ってください。
- **AC電源の工事がともなう場合は、電気工事士の資格者が行うようにしてください。**
  感電、漏電、火災の原因になります。
- **湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所には設置しないでください。**
  火災、感電、やけど、故障の原因になります。
- **DC電源コードを接続するときは、プラス⊕とマイナス⊖の極性をまちがえないように十分注意してください。**
  火災、感電、故障の原因になります。
- **指定以外の電圧(DC12Vまたは24V)以外では使用しないでください。**
  火災、感電、故障の原因になります。
- **万一、煙が出ている、変なにおいがする、変な音がするなどの異常状態のまま使用しないでください。**
  そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。
  すぐに電源スイッチを切り、煙が出なくなるのを確認してからお買い上げの販売店、または弊社営業所サービス係に連絡してください。
- **機器内部に線材のような金属物を入れたり、水をかけたり、水につけたりしないでください。**
  火災、感電、故障の原因になります。

- **この製品を法律の異なる外国では使用できません。**
  使用できるのは日本国内に限られています。
- **電源コードや接続ケーブルの上に重いものを載せたり、挟んだりしないでください。**
  傷ついて破損し、火災、感電、故障の原因になります。
- **電源コードや接続ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりしないでください。**
  傷ついて破損し、火災、感電、故障の原因になります。

⚠注意

下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害だけの発生が想定される内容」を示しています。

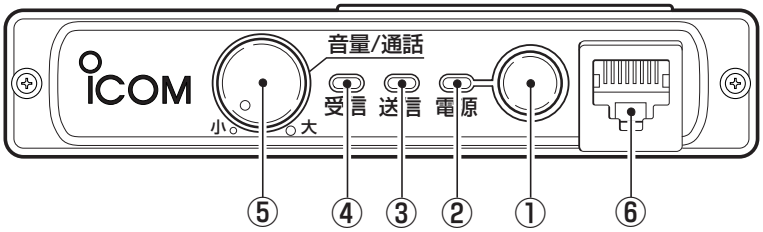
- **機器をぐらついた台の上や傾いたところ、振動の多い場所に設置しないでください。**
  落ちたり、倒れたりして火災、けが、故障の原因となることがあります。
- **直射日光のあたる場所やヒーター、クーラーの吹き出し口など、温度変化の激しい場所には設置しないでください。**
  変形、変色、火災、故障の原因になることがあります。
- **マイクロホンを接続するときは、指定以外のマイクロホンを使用しないでください。**
  故障の原因になることがあります。
- **テレビやラジオの近くに設置しないでください。**
  電波障害を与えたり、受けたりする原因になることがあります。
- **清掃するときは、シンナーやベンジンを絶対使用しないでください。**
  ケースが変質したり、塗料がはげる原因になることがあります。普段はやわらかい布で、汚れのひどいときは水で薄めた中性洗剤を少し含ませてふいてください。
- **この装置の故障、誤動作、不具合あるいは停電などの外部要因により通信、通話などの機会を失ったために生じた損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**
- **使用中でも通話相手が電波状態の悪い場所へ移動した場合は、通話が途切れることがありますのでご了承ください。**
- **別売品のマイクロホン(AM-4)はベース(取り付け部)に強力なマグネットを使用しています。キャッシュカードや定期券など磁気を利用したカード類をマイクロホンに近付けないでください。**
  磁気データが損なわれ使用できなくなることがあります。

電波法上のご注意

- **本機を分解したり、改造することは電波法でかたく禁じられています。**
- **他局の通信を妨害したり、通話の内容を他に漏らすことは、電波法でかたく禁じられています。**
- **この製品を法律の異なる外国では使用できません。**
  使用できるのは日本国内に限られています。

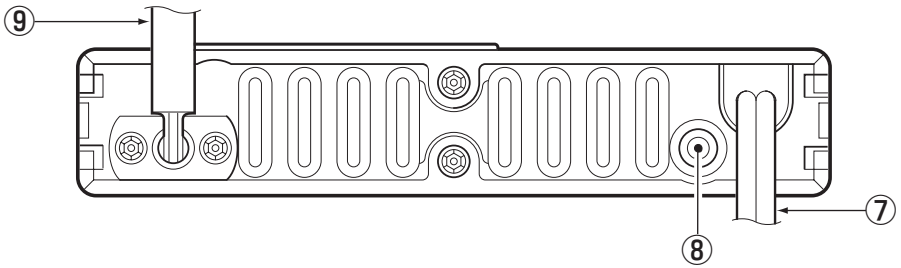
2 各部の名称と機能

■前面パネル



①	**電源スイッチ**	電源を“ON/OFF”するスイッチです。
②	**電源表示LED**	電源“ON”時を橙色で表示します。
③	**送信表示LED**	通話中(送信)を赤色で表示します。
④	**受信表示LED**	受話中(受信)を緑色で表示します。
⑤	**音量/通話ツマミ**	●受信音の音量を調整するツマミです。 ツマミを右に回すと音量が大きくなり、逆に回すと小さくなります。 ●通話相手を呼び出すときや、通話を終了するときに押します。
⑥	**マイクコネクター**	マイクロホン(AM-4)を接続するコネクターです。

■後面パネル



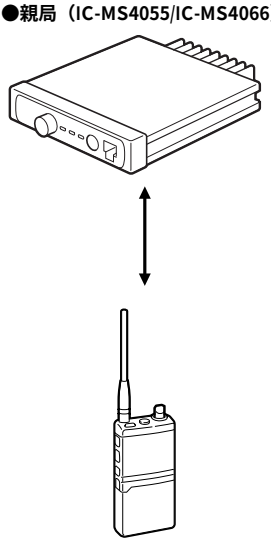
⑦	**電源接続端子**	電源を接続する端子です。 電源電圧は、DC13.8VまたはDC24Vのバッテリー(DC外部電源装置)に接続できます。
⑧	**外部スピーカー接続端子**	外部スピーカー(SP-5)を接続する端子です。
⑨	**アンテナ**	電波を発射したり、受信する部分です。

A 通話モードについて

IC-MS4055/IC-MS4066の通話モードと仕様は、下表のように分類されています。
システム設定時に使用環境や目的に応じ、通話モードと仕様を設定しています。
通話モードと仕様などのシステム設定は、販売店にお任せください。
通話モード(シンプル通話/マニュアル通話)と仕様(ペア仕様/一斉呼び出仕様)は、システム設定時に設定したいずれかの機能を使用できます。

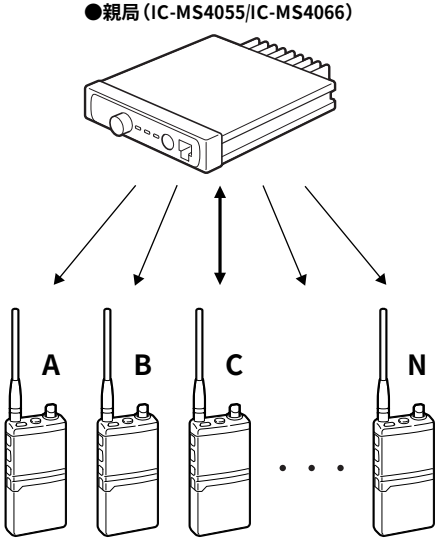
通話モードと仕様	シンプル通話	マニュアル通話
ペア仕様	①1：1のペアによる通話 ②通話チャンネルは自動設定 ③着信時の通話設定は自動	①1：1のペアによる通話 ②通話チャンネルは手動設定 ③着信時の通話設定は自動
一斉呼び出し仕様	①1：Nで一斉呼び出しをして通話 ②通話チャンネルは自動設定 ③着信時の通話設定は手動	①1：Nで一斉呼び出しをして通話 ②通話チャンネルは手動設定 ③着信時の通話設定は手動

● ペア仕様



簡単に1：1による同時通話ができます。

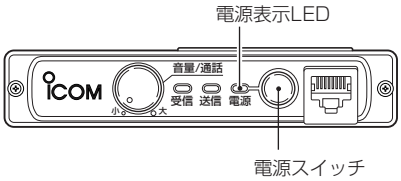
● 一斉呼び出し仕様



図の場合、親局は子局(C局)と同時通話ができ、他の子局は親局の話しだけが聞こえます。

B 基本操作のしかた

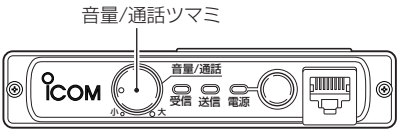
1. 電源の入れかた



[電源]スイッチを約0.3秒以上押します。
ビープ音が“ピピッ”または“ピッ”と鳴り、電源表示LEDが点灯します。

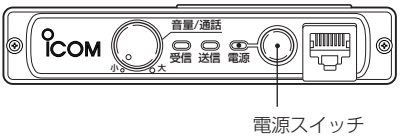
- MCA方式に設定している場合“ピピッ”と鳴ります。
- 手動方式に設定している場合“ピッ”と鳴ります。

2. 音量の調整



[音量/通話]ツマミを時計方向に回して、音量を調整します。
ツマミを時計方向に回すと、音量が大きくなり、逆に回すと小さくなります。
初めて音量を調整するときは、ツマミはあらかじめ時計方向の9時の位置に設定し、通話を行いながら聞きやすい音量に調整してください。

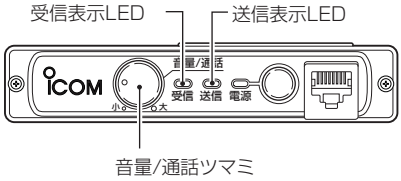
3. 電源の切りかた



[電源]スイッチを約0.5秒以上押すと、ビープ音が“ププッ”と鳴り、電源が切れます。
一日の業務が終了すれば、必ず電源を切ってください。

C ペア仕様機の操作

1.通話相手を呼び出す

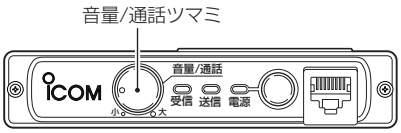


[音量/通話] ツマミを押すか、マイクロホンの**[通話]**スイッチを“ON”にするとビープ音が“ピッ”と鳴り、送信表示LEDが点滅し、回線がつながるとビープ音が“ピーポツ”と鳴り、送信表示LED(赤色)と受信表示LED(緑色)が点灯します。
マイクロホンに向かって
『こちらは×××です。○○○さん応答願います。』
と呼びかけ、相手が出たら電話と同じように同時通話を行うことができます。

2.呼び出しを受けたときは

呼び出しを受けると、ビープ音が“ピーポッ”鳴り、送信表示LED(赤色)と受信表示LED(緑色)が点灯します。
マイクロホンに向かって
『こちらは○○○です。』
と応答したあと、電話と同じように同時通話を行うことができます。

3.通話の終了



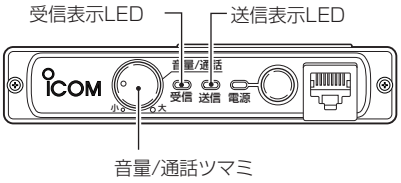
[音量/通話]ツマミを押すか、マイクロホンの**[通話]**スイッチを“OFF”にすると、ビープ音が“ププポッ”と鳴って、送信表示LED(赤色)と受信表示LED(緑色)が消灯し、両者とも(呼び出した方も呼び出された方も)回線が切れます。
子機側で通話を終了するときは、**[通話]**スイッチを押してください。

【ご参考】

- IC-MS4066の通話時間は制限されているので、一回につき3分間で通話が切れます。
  自動継続機能(☞P9)を設定すると、通話が切れてから2秒後に自動で呼び出します。
- IC-MS4066使用時に通話を終了する(通話制限時間内でも)ときは、呼び出した方が通話の終了操作を行ってください。
- IC-MS4066使用時は、3分間の通話制限時間が10秒前になるとピーと鳴り、自動的に通話が終了します。
- 通話チャンネルが手動(マニュアル通話)の場合は、通話チャンネル、およびグループ番号を同じ設定にしていないと通話できません。
- 回線が接続できない(ビープ音が“プッ”と鳴り、送信表示LEDが消灯)ときは、相手局が電源を切っているか、電波の届かない場所にいることを表しています。

D 一斉呼び出し仕様機の操作

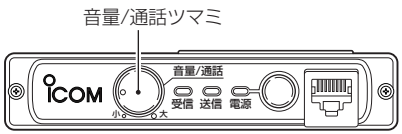
1.通話相手を呼び出す



※受信表示LEDは、相手局が応答すると点灯する

[音量/通話]ツマミを押すか、マイクロホンの**[通話]**スイッチを“ON”にするとビープ音が“ピッ”と鳴り、送信表示LEDが点滅し、回線がつながるとビープ音が“ポポツ”と鳴り、送信表示LED(赤色)が点灯します。
マイクロホンに向かって
『こちらは×××です。○○○さん応答願います。』
と呼びかけ、相手局から応答があると受信表示LED(緑色)点灯し、電話と同じように同時通話を行うことができます。

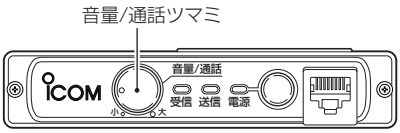
2.呼び出しを受けたときは



呼び出しを受けると、ビープ音が“ポポッ”鳴り、受信表示LED(緑色)が点灯します。
[音量/通話]ツマミを押すか、マイクロホンの**[通話]**スイッチを“ON”にすると、送信表示LED(赤色)が点灯します。
マイクロホンに向かって
『こちらは○○○です。』
と応答したあと、電話と同じように同時通話を行うことができます。

3.通話の終了

■親局が終了する



- IC-MS4055/IC-MS4066で通話を終了するときは、**[音量/通話]**ツマミを押すか、マイクロホンの**[通話]**スイッチを“OFF”にすると、ビープ音が“ププポッ”と鳴って、送信表示LED(赤色)と受信表示LED(緑色)が消灯し、両者とも(呼び出した方も呼び出された方も)回線が切れます。

■子機側で終了する

- 子機側で通話を終了するときは、**[通話]**スイッチを押します。
  親局から次の呼び出しを受けた人は、**[通話]**スイッチを押すことにより、同時通話を行うことができます。

※子機側から一斉呼び出しを終了することはできません。

【ご参考】

- IC-MS4066の通話時間は制限されているので、一回につき3分間で通話が切れます。
  自動継続機能(☞P9)を設定すると、通話が切れてから2秒後に自動で呼び出します。
- IC-MS4066使用時に通話を終了する(通話制限時間内でも)ときは、呼び出した方が通話終了の操作を行ってください。
- IC-MS4066使用時は、3分間の通話制限時間が10秒前になるとピーと鳴り、自動的に通話が終了します。
- 通話チャンネルが手動(マニュアル通話)の場合は、通話チャンネル、およびグループ番号を同じ設定にしていないと通話できません。
  必ず、通話相手局と同一のグループ番号と通話チャンネルを決め、設定しておきます。
- 回線が接続できない(ビープ音が"プッ"と鳴り、送信表示LEDが消灯)ときは、相手局が電源を切っているか、電波の届かない場所にいることを表しています。
- 指名された局以外が**[通話]**スイッチを"ON"にすると、無線回線が衝突して、通話できなくなります。

E 自動継続機能について

IC-MS4066による通話時間は3分間に制限されているので、3分をすぎると通話が自動的に終了し、約2秒間の休止時間をおいて自動的に再発呼(呼び出し)するのが自動継続機能です。

■自動継続機能“ON”時の動作

通話制限時間(3分)迫るとビープ音が“ピー”と鳴り、10秒後に通話が自動的に終了します。
約2秒間の休止時間後、自動的に再発呼し、もう一度通話できるようになります。
再発呼は、回線が接続されるまで繰り返し行います。

自動継続機能“ON”時の終話動作は、発呼した(呼び出した)方に優先権がありますので、呼び出された方から通話を終了した場合は、約2秒間の休止後、自動的に再発呼します。必ず呼び出した方が通話を終了してください。
IC-MS4055/IC-MS4066で通話を終了するときは、[音量/通話]ツマミを押すか、マイクロホンの[通話]スイッチを“OFF”にしてください。
子機側で通話を終了するときは[通話]スイッチを押してください。

■自動継続機能“OFF”時の動作

通話制限時間(3分)に迫るとビープ音が“ピー”と鳴り、10秒後に通話が自動的に終了します。
なお、3分間の通話制限時間前に通話を終了するときは、どちらか一方が通話の終了操作を行ってください。
IC-MS4055/IC-MS4066(親局側)で通話を終了するときは、**[音量/通話]**ツマミを押すか、マイクロホンの**[通話]**スイッチを“OFF”にしてください。
子機側で通話を終了するときは、**[通話]**スイッチを押してください。

F 拡声器機能について

本機は拡声器として動作させることができます。
本機と子機が通話状態になると拡声器として動作し、外部スピーカーから子機の音声と本機のマイクロホンからの音声をミキサーして出力します。
※マイクロホンとスピーカーを近くに設置するとハウリングすることがありますので、できるだけ離し設置してください。

なお、自動継続機能、拡声器機能など諸機能の設定は、販売店にお任せください。

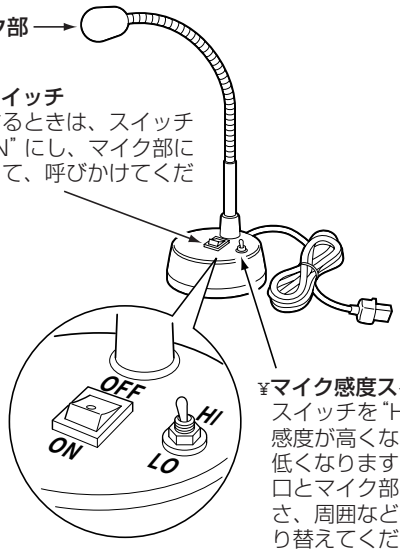
G 本機の[音量/通話]ツマミとマイクロホンの[通話]スイッチについて

通話の発呼と応答、終話の操作は、本体またはマイクロホンのどちらでも行うことができます。
ただし、マイクロホンの**[通話]**スイッチはロック式のため、マイクロホンのスイッチ動作が優先されます。

■ご使用形態に応じて本体またはマイクロホンのスイッチを使い分けてください。
①本体が手の届かないところに設置されている場合。
　マイクロホンのスイッチが便利です。
　マイクロホン(AM-4)はマグネット基台付きアームマイクですから設置場所を選びません。
②本体が手の届く範囲に設置されている場合。
　本体のスイッチが便利です。
　本体のスイッチはワンプッシュ方式で簡単に操作できます。
　また、頻繁に発呼・応答する場合に便利です。
※ただし、マイクロホンのスイッチが“ON”になっているときは、本体のスイッチ操作は無効となります。

【ご注意】
マイクロホンの**[通話]**スイッチを“ON”にすると、常に発呼(呼び出し)動作を行いますので、通話が終了したら必ず“OFF”にしてください。

■AM-4について



4 ご参考に

A 回線接続表示について

本機は回線の接続状態を送信表示LED/受信表示LEDとビープ音で、下記のように表示しています。

■ ペア仕様の表示

●回線接続中の表示

ビープ音：“ピッ”と鳴る

LED表示：送信表示LED(赤色)点滅

●回線接続完了の表示

ビープ音：“ピーポッ”と鳴る

LED表示：送信表示LED(赤色)、受信表示LED(緑色)点灯

●回線接続不可の表示

ビープ音：“プッ”と鳴る

LED表示：送信表示LED(赤色)、受信表示LED(緑色)消灯

■ 一斉呼び出し仕様の表示

●回線接続中の表示

ビープ音：“ピッ”と鳴る

LED表示：送信表示LED(赤色)点滅

●回線接続完了の表示

ビープ音：“ポポッ”と鳴る

LED表示：送信表示LED(赤色)点灯

相手局から応答があると受信表示LED(緑色)点灯

●回線接続不可の表示

ビープ音：“プッ”と鳴る

LED表示：送信表示LED(赤色)、受信表示LED(緑色)消灯

【ご参考】

- ビープ音が“プッ”と鳴って回線が接続できないときは、相手局が電源を切っているか、電波の届かない場所にいることを表しています。
- ビープ音が“ピップッ” “ブッブッ”と鳴って回線が接続できなときは、他の無線局が無線回線を使用中ですから、約2〜10秒以上おいて再度呼び出しを行ってください。

B 設置について

⚠注意	運転の支障のないところに設置してください。 直射日光が長時間あたるところ、ヒーターやクーラーの吹き出し口など、温度変化の激しいところには設置しないでください。 本装置や電源コードの上に、荷物を乗せたり、ふみつけたりするところに設置しないでください。

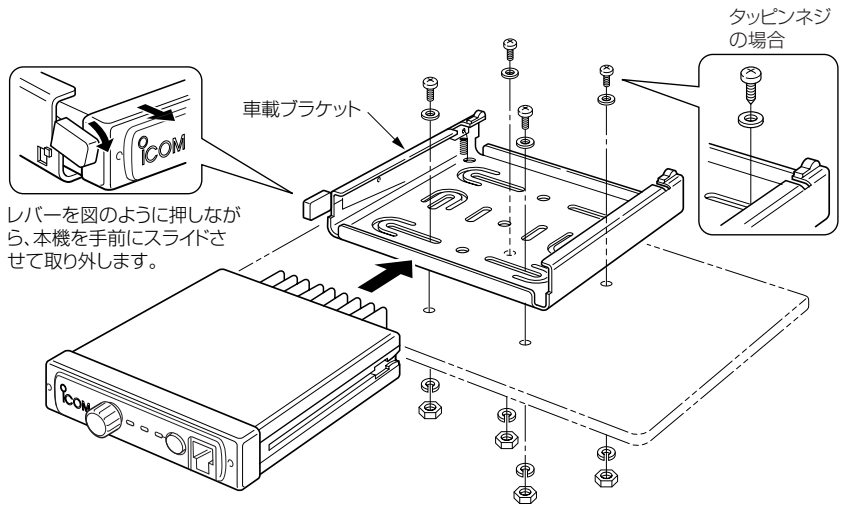
■取り付けかた

①付属の車載ブラケットを利用し、下図のように付属のビス、ナット、またはタッピンネジで取り付けます。

②車載ブラケットのガイド部に、両サイドの溝を合わせ、本機をスライドさせて固定します。
スライドしていくと中ほどから重くなりますが、軽く力を入れて押してください。

③本機を取り外すときは、レバーを図のように押しながら、手前にスライドさせてください。

■取り付け例



4 ご参考に

C 保守について

1.日常の保守と点検

- マイクロホン、電源コードなどがしっかりと接続されているか、またゆるみがないかを点検してください。
- 普段のお手入れは、やわらかい布で拭いてください。
  汚れのひどいときは、水で薄めた中性洗剤を少し含ませて、拭いてください。
  シンナー・ベンジンなどの有機溶剤を用いると、印刷が消えたり、色があせたりしますので、絶対に使用しないでください。
- 絶対に機器を分解しないでください。

D 故障かな？と思ったら

製品はすべて厳重な品質管理と厳しい検査により出荷されていますが、万一故障が生じたときは、お買い上げの販売店または弊社営業所サービス係まで、故障状況をできるだけ具体的に連絡してください。
故障と思われるときでも、もう一度次の点を確認してください。

①電源スイッチを押しても電源が入らないときは、電源ケーブルの接続状態を確認してください。
  また、ヒューズを調べ、断線している場合は原因をとりのぞき、新しいヒューズと交換してください。
②スピーカーから音が聞こえないときは、音量が最小にセットされていないか確認してください。
  または、スピーカーの接続状態を確認してください。
③電源スイッチを入れたとき、スピーカーから“ピピッ”と鳴らずに“ブブッ”と鳴るときは、お買い上げの販売店または弊社営業所サービス係にお問い合わせください。

E アフターサービスについて

■保証書について

保証書は販売店で所定事項(お買い上げ日、販売店名)を記入のうえお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

■修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら(☞P13)」にしたがってもう一度調べていただき、それでも具合の悪いときは、次の処置をしてください。

●保証期間中は

お買い上げの販売店にご連絡ください。
保証規定にしたがって修理させていただきますので、保証書を添えてご依頼ください。

●保証期間後は

お買い上げの販売店にご連絡ください。
修理することにより機能を維持できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

■アフターサービスについてわからないときは

お買い上げの販売店または弊社営業所サービス係にお問い合わせください。

5 定 格

1.一般仕様

- 周 波 数 範 囲 ： 送信 421.575MHz～421.800MHz、440.025MHz～440.250MHz
  受信 440.025MHz～440.250MHz、421.575MHz～421.800MHz
  制御チャンネル含む19波×2(A/B自動切替)
- チ ャ ン ネ ル 数 ： MCA方式＝19チャンネル(制御チャンネル含む)
  手動切替方式＝16チャンネル
- チャンネル切替方式 ： 自動、または手動切替
- チ ャ ン ネ ル 間 隔 ： 12.5kHz
- 通 信 方 式 ： 複信方式
- 電 波 の 型 式 ： F1D・F3E
- アンテナインピーダンス ： 50Ω
- 周 波 数 安 定 度 ： ±4ppm(−10℃～+50℃)以内
- 電 源 電 圧 ： 13.8V～26.4V ±10%
- 消 費 電 流 ： 700mA以下
- 使 用 温 度 範 囲 ： −10℃～+50℃
- 外 形 寸 法 ： 125(幅)×25(高さ)×130(奥行き)mm (突起物を除く)
- 重 量 ： 500g

2.送信部

- 空 中 線 電 力 ： 0.001W +20 −50% **[IC-MS4055]**
  0.01W +20 −50% **[IC-MS4066]**
- 発 振 方 式 ： 水晶発振で制御する周波数シンセサイザー方式
- 空中線インピーダンス ： 50Ω 不平衡
- 周 波 数 許 容 偏 差 ： ±4×10^{-6}以内
- 変 調 方 式 ： 可変リアクタンス周波数変調
- 最 大 周 波 数 偏 移 ： ±2.5kHz以内(IDC付き)
- 標 準 変 調 入 力 ： 5mV±3dB(1kHz 60%変調時)
- 変調入力インピーダンス ： 2200Ω
- 変 調 周 波 数 ： 300～3000Hz
- 占 有 周 波 数 帯 幅 ： 8.5kHz以下
- 隣接チャンネル漏洩電力 ： 40dB以上
- 総 合 歪 率 及 び 雑 音 比 ： 変調周波数1kHzで70%変調時 30dB以上
- スプリアス発射強度 ： 2.5μW以下

3.受信部

- 副次的に発する電波等の限度 ： 4000μμW以下
- 受　信　方　式 ： ダブルスーパーヘテロダイン方式
- 中　間　周　波　数 ： 第一：30.875MHz、　第二：455kHz
- 局　部　発　振　周　波　数 ： 第一：受信周波数－30.875MHz、　第二：30.420MHz
- 受　信　感　度 ： 0.22μV以下（12dB SINAD)
- 通　過　帯　域　幅 ： 6dB低下幅　8.5kHz以上 **[IC-MS4055]**
  6dB低下幅　8.5kHz以上 **[IC-MS4066]**
- スプリアスレスポンス ： 40dB以上 (12dB SINAD感度比)
- 隣接チャンネル選択度 ： 40dB以上 (12dB SINAD感度比)
- 相　互　変　調　特　性 ： 40dB以上 (12dB SINAD感度比)
- 総合歪率及び雑音 ： 標準変調10μV入力で装置の全出力とその中に含まれる不要成分の比が30dB以上
- スケルチ感度 ： －3dBμ以下
- 低　周　波　出　力 ： 2W以上 (負荷インピーダンス8Ωにて10%歪率時)

4.電源部

- 使用電源の種類 ： DC 13.8V/26.4V(定電圧回路内蔵)
- 消　費　電　流 ： 通話時(送受信)約700mA以下
- 制　御　器 ： 本体内部に収容(定電圧、送受信切り替え)

5.制御部および空中線

- 呼出名称記憶送出装置
  - 信号構成
    - ビット同期信号 ： 128bit
    - フレーム同期信号 ： 31bit
    - 呼出名称信号 ： 63bit
  - 送出条件 ： 通信の始め
  - 変調速度 ： 2400bps
  - 変調速度許容偏差 ： ±200ppm以内
  - 符号形式 ： 直接FSKで＋偏位を理論の0、－偏位を理論の1とする正理論
- 送信期間制限装置
  - 通信時間 ： 制限なし **[IC-MS4055]**
    3分以内 (通信時間積算方式) **[IC-MS4066]**
  - 休止時間 ： 2秒間 **[IC-MS4066]**
- キャリアセンス
  - 受信入力電圧 ： 2μV以下
  - 応答時間 ： 20ms以下
- 空　中　線　構　造 ： 筐体と一体構造 (単一型　1λ/4)

※定格・仕様・外観などは、改良のため予告なく変更することがあります。

高品質がテーマです。

アイコム株式会社

本　　社	547-0003	大阪市平野区加美南1-1-32	
北海道営業所	060-0041	札幌市中央区大通東9-14	TEL 011-251-3888
仙台営業所	983-0857	仙台市宮城野区東十番丁54-1	TEL 022-298-6211
東京営業所	130-0021	東京都墨田区緑1-22-14	TEL 03-5600-0331
名古屋営業所	468-0066	名古屋市天白区元八事3-249	TEL 052-832-2525
大阪営業所	547-0004	大阪市平野区加美鞍作1-6-19	TEL 06-6793-0331
広島営業所	733-0842	広島市西区井口3-1-1	TEL 082-501-4321
四国営業所	760-0071	高松市藤塚町3-19-43	TEL 087-835-3723
九州営業所	815-0032	福岡市南区塩原4-5-48	TEL 092-541-0211

● サービスについてのお問い合わせは各営業所サービス係宛にお願いします。

A-5467G-1J-① © 1997 Icom Inc.